

「いばらキッス」暖候期に向けた管理について

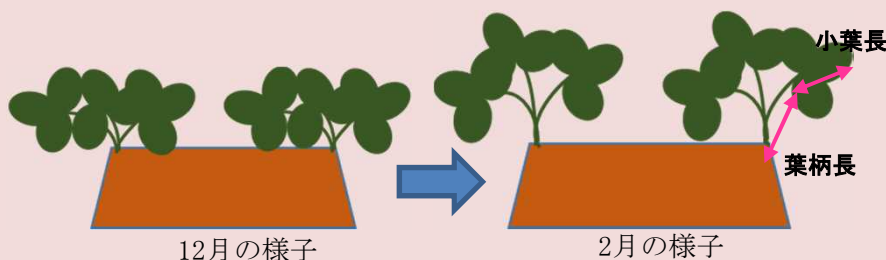


冬至を経て1月に入ると日射量が増えるため、外気温は低いままでも、ハウス内の温度は次第に高くなります。それにより、イチゴの草姿が変わってきます。

12月までの葉は横に広がり、葉柄の長さとお葉の長さが同じくらいであったものが、1月下旬には葉が立ってきて葉柄が伸び、小葉長よりも長くなります。その後も、厳寒期同様の温度管理を続けていくと、ランナーが発生します。

ランナーの発生は、栄養生長が強くなっていることを示します。栄養生長が強くなると、果実は小玉化し、3月頃には花芽が分化しなくなり、4、5月に収穫する果実がなくなります。3月から5月まで大きい果実を収穫し続けるには、ハウス内の温度を低めに管理し、生殖生長に傾ける必要があります。

ランナーの発生が少しでも見られたら、ハウス内の最高温度が25℃以上にならないように積極的に換気を行い、23～25℃で管理しましょう。（園芸研究所 野菜研究室 山邊）



ランナーが発生している様子

いちごグランプリ開催及びイーアスつくばでのイチゴPR

茨城県いちご経営研究会では、県内産地におけるいちご生産技術の交流を積極的に推進し、より一層の栽培技術の向上を図るため、今年で第6回目となる「茨城いちごグランプリ」を開催しました。

本年は、これまで最多となる13名の生産者が参加されました（いばらキッスの部7名、一般の部6名）。各出品者の得点は伯仲し、僅差となりましたが、いばらキッスの部大賞は小美玉市の井川肇さん、一般の部大賞は笠間市の谷中正一さんとなりました。受賞、誠にありがとうございます。

平成30年1月27日（土）、つくば市内の商業施設「イーアスつくば」において、県が開催する「おいしさ弾けるいばらき莓キャンペーン」と連携して、茨城県いちご経営研究会、いばらキッスブランド研究会をはじめ、生産者の協力のもと県産いちごのPRを実施しました。

初の取組となる今回は、グランプリ紹介パネルの展示、茨城いちごグランプリ出品者のいちご試食を行い、「茨城いちごグランプリ」の認知度向上を図りました。また、いばらキッスを中心に試食PRを行いました。試食は、常に列ができ、大変な盛況となりました。

消費者にいちごづくりの想いを伝え、消費者のニーズを知って、今後の産地づくりに活かしていくために、今回のような消費者とのコミュニケーションは重要と改めて認識できるイベントとなりました。



イーアスつくばでのイベント

首都圏での取組

～エキュート品川いちごWeekにおける、いばらキッズ商品開発～

平成30年1月9日～28日の20日間、品川駅のエキナカ商業施設「エキュート品川」(株)JR 東日本ステーションリテイリング運営)にて、いちごを使ったメニューを提供する「いちごWeek」が開催され、そのうち7店舗が「いばらキッズ」を使ったオリジナル商品を開発し、期間限定で販売しました。

この取組は、常磐線の乗り入れでアクセスが良くなった茨城をPRする目的で、「ぜひオリジナル品種いばらキッズを使った商品開発をしたい」と県に相談があったことがきっかけでした。しかし、検討を進めると、出来る限り早い時期でのいちごサンプルの提供、輸送時の傷みを防ぐため業務用トレイの使用、更には各店舗の注文に応えるための量の確保と細かな出荷対応など、課題が多くありました。

今回は、JA茨城旭村いちご部会(島田忠良部会長)に協力いただき、課題をひとつひとつクリア、結果として洋菓子、パン、和菓子、ジュースなどバラエティ豊かな商品が店舗に並ぶこととなりました。

また、1月20日(土)には銚田市協力のもと、いばらキッズの試食を実施、大変盛況でした。



いばらキッズとは：茨城県で育成されたオリジナル品種のいちごです。いばらキッズの最大の特徴は、甘さと酸味のバランスが良いことです。ジューシーな食感も魅力です。

生地に日本酒を染み込ませた
オトナ向けのどら焼き

【ドルフィン】
いばらキッズドーナツ
1個 59円(税込)

【ボール】
いばらキッズの
クワランパン
1個 99円(税込)

【アイスリー】
085
エクレール プレー
1個 220円(税込)

【カクミクテラシカ】
フレッシュいちごのブロッコ
99円 990円(税込)

【のんびーね】
いばらキッズ
たっぴのフレッシュいちご
590円(税込)
630円(税込)
730円(税込)

1/20 (土) プレゼント抽選会
上記記載の7ショップで、1,000円(税込)以上お買い上げのお客さまに、先着で抽選券を配布いたします。
(1食付1冊、無くなり次第終了) 抽選時間：10時～17時

抽選品：
銚田産いちご
銚田産いちごのジャム
銚田産いちごのジャム
銚田産いちごのジャム
参加賞は少

※本
ゆるキャラ、銚田市ブランド大使による
いちご PR いちごお祭り
11時、13時、15時の3回(各回30分の
所定時間)に、はてなプラン大使、はてな
ハラス大使が、いちご試食を実施します。



産地、企業、行政と様々な方の協力により実現した取組。商品開発によりいばらキッズの可能性が広がるとともに、多くの方が行き来する品川でPR出来たことは、大きな成果だったと思います。

(販売流通課 販売戦略 柴田)

いばらキッズの親株管理のポイント

～ がっちりした親株を育てて良質な苗を確保しましょう ～

「いばらキッズ」は、「とちおとめ」に比べるとランナー発生が旺盛で、1株から得られる苗の数が多くなります。その分窒素吸収量も多くなるので、肥料切れしないように注意しましょう。

親株は10aあたり200株を目安に用意し、定植前には必ず土壤消毒を行います。

また、近年では炭そ病予防や軽作業化を目的に、高設ベンチを利用した育苗が増加しています。その場合、プランターに2～3株を定植し、数回に分けて施肥を行います。

栽植密度及び施肥の目安

・地床育苗の場合

株間60～80cm × 畝幅200cm

施肥量：基肥窒素成分 5kg/10a

追肥(5月中旬以降)：窒素成分4kg/10a

・プランター育苗の場合

施肥量：基肥窒素成分 900mg/株

追肥(5月中旬以降)：窒素成分600mg/株

良質な苗を確保するために・・・

- ① 親株から出た花房は適宜取り除きましょう。
- ② 「とちおとめ」と比較すると、炭そ病にやや弱いので、親株には健全で無病な苗を使用し、炭そ病対策を中心に定期的(2週間に1回程度)な薬剤散布を行います。
- ③ 「いばらキッズ」は「とちおとめ」より葉が大きく蒸散量が多い品種です。土が乾きやすいので、かん水不足にならないように注意しましょう。

(農業総合センター 専門技術指導員室 水野)